

かわぐち 川口いほもの通信

vol 20
2026.2

「身近な生き物」絵画コンクール

こうきさいだんほうじん
公益財団法人
かわぐち し こうえんりよく ち こうしゃしゅさい
川口市公園緑地公社主催

市内の小学校1～3年生が市内で見つけた生きものを描いた絵画コンクールの受賞作品が発表されました。応募のあった2,639作品から市長賞・市議会議長賞に選ばれた6作品を紹介します。

市長賞



カマキリいっしゅの一種

あお き きたしょうがっこう ねん さとう りんじゅ
青木北小学校(1年) 佐藤 凜樹さん



ベンケイガニ

みなもと が や しょうがっこう ねん まきしま り の
南鳩ヶ谷小学校(2年) 巻島 璃音さん



サトクダマキモドキ

まえかわしょうがっこう ねん そのばやし しゅん
前川小学校(3年) 園林 駿さん

市議会議長賞



アカボシゴマダラ

ひがしほんごうしょうがっこう ねん たに さくら
東本郷小学校(1年) 谷 咲良さん



クサグモ

とづかなみしょうがっこう ねん おおさわ りつ き
戸塚南小学校(2年) 大澤 律己さん



カブトムシ
並木小学校(3年) 阿部 日向子さん

とづかなかだいこうえん い かんさつ 戸塚中台公園で生き物の観察!

10月21日、川口市公園緑地公社主催の「とづか いきもの たんけんたい」が開催されました。小雨が降る肌寒い中でしたが、戸塚小学校1年生約120人が参加し、イチヨウの実(ギンナン)やカツラ、クスノキの葉っぱといった公園の植物のにおいを嗅いでみたり、落ち葉の中のカブトムシの幼虫を探したり、原っぱで昆虫採集をするなど、川口市の自然とたくさんふれあうことができました。



野鳥との関わり方を考えよう！

カラスやハト、スズメなど私たちの身の回りにはさまざまな野鳥が生息しています。とても身近な存在の生きものですが、人間が無理に関わろうとするとさまざまな悪影響を受ける場合があります。一度、野鳥との関わり方について考えてみましょう。

野鳥に餌をあげないで！

野鳥たちは、自然の中で木の実や昆虫を見つけて食べています。もともと自分の力で自然界を生きる力が備わっているのです。しかし、私たちが餌をあげてしまうと、自分たちで餌を探さなくなり、厳しい自然の中で生きる力が弱くなってしまいます。野鳥やほかの生きもののためにも餌をあげることはやめましょう。



野鳥のヒナを見かけたら

春から夏にかけて、野鳥は繁殖シーズンを迎えます。この時期、巣立ちしたばかりのヒナがうまく飛べずに地面に落ちてしまうことがあります。地面にいるヒナは弱っているわけでも、迷子になっているわけでもありません。人が助けてしまうと自然の中で生きていけなくなってしまうので、そっと見守りましょう。



車道の近くで見かけたら

親鳥とヒナは鳴き声で連絡を取り合うため少しであれば離れていても問題ありません。手袋などをして道から少し離れた茂みなど人目につかない場所に移動させてください。



うまく飛べず、地面に落ちてしまったツミのヒナ。少し休んだ後、自力で飛び立ちました。

※許可なく野鳥を捕まえたり、飼うことは法律により禁止されています。

川口市市産品フェア～あつまれ！昆虫大好き人間～

10月24日に昆虫の取り組みをテーマとしたシンポジウムが行われ、埼玉県川口市、鳩山町、福島県の田村市、矢祭町の市町長たちが集まりました。会場には上青木南小学校の児童や川口市立高等学校附属中学校の生徒が参加して、熱心に発表を聞き入りました。また、ステージ上に展示された、日本蝶類科学学会会員の安藤さんが所有する貴重なチョウの標本や田村市のめずらしい生き物も観察しました。

